

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(149)、(182)」

2. 日時：令和5年9月11日(月) 10時30分～11時35分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長
他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年9月11日に受領済み>>

- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波について (コメント回答)
- ・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁地震津波のスズキでそれでは時間になりましたので、浜原子力発電所地震以外の要因による津波の、
0:00:11	コメント回答の1回目のヒアリングを始めたいと思います。
0:00:15	資料としては昨日9月11日
0:00:19	で、コメント回答と、
0:00:22	あとこれから地震以外の要因による津波のフルセット版ですかね、この資料2点ありますんで、まずは資料の方中部電力から説明をお願いします。
0:00:34	はい。中部電力の尾川です。地震以外の要因による津波としまして、7月14日の第1168回審査会合でのコメント、
0:00:43	についてご説明をさせていただきたいと思います。
0:00:46	説明時間およそ5分ぐらいとなっております。それではよろしく申し上げます。
0:00:53	中部電力の永松です。
0:00:55	浜岡原子力発電所の基準津波の策定のうち地震以外の要因による津波について、
0:01:00	前回会合のコメント回答をご説明いたします
0:01:03	まず、3ページ。
0:01:05	けども、前回会合のコメント一覧表をお示ししています。
0:01:09	コメントは1件、
0:01:10	で、内容は、2層流モデルの手法による同時発生の影響確認となっております。
0:01:17	具体的には、
0:01:18	法律いたします。
0:01:19	4ページが目次。
0:01:21	5ページから7ページが、海底地すべりの津波評価の検討の概要です。
0:01:26	前回会合からこちらは変更がございません。
0:01:30	続いて9ページが、評価の概要とコメント回答との関係
0:01:34	10ページはコメント回答の概要
0:01:37	上の箱書きですが、
0:01:39	会合では、前回会合では、複数の地すべりの同時発生に関する影響確認について、同時発生を対象とした二相流モデルの評価による評価結果を示した上で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:50	平成 26 地点単独発生を対象とした、Watts他の手法による評価結果により代表できることを確認すること。
0:01:57	とのコメントを受けております。
0:01:59	これに対して、下の箱書きですが、
0:02:02	S21 からS26 号、
0:02:05	の地すべり
0:02:07	と、S26 からS29 地点の海底地すべりの同時発生による影響確認について、
0:02:13	複数の手法で評価する
0:02:15	とし単独発生の影響評価に於いて、影響の大きいWatts他の手法を用いた数値シミュレーションだけでなく、2 層流モデルの手法を用いた数値シミュレーションも行いました。
0:02:26	その結果、2 層流モデルによる評価結果を考慮しても、最大上昇水位、最大下降水位ともに、マツオカの手法によるS26 地点単独発生の影響が、
0:02:36	最も大きい結果に変わりはないことから、
0:02:39	S26 地点単独発生を対象としたマツオカの評価手法による評価結果により代表できることを確認して、
0:02:47	11 ページでは、複数の海底地すべりが同時発生した場合の影響確認の。
0:02:53	検討概要
0:02:55	コメント回答に伴って、2 層流による同時発生の影響確認を追加したことによる、
0:03:01	変更、追加を下の赤、赤の下線で示しており
0:03:07	内容については次のページから確認していただきます。
0:03:11	12 ページに、同時発生による影響確認結果を示しております。
0:03:17	コメント回答に伴い、
0:03:18	2 層流による同時発生の影響。
0:03:22	の
0:03:23	確認結果を追加で示していく。
0:03:25	下の黄色の箱書きですが、
0:03:28	表とグラフに示します通り、
0:03:30	最大上昇水位、最大下降水位ともに、マツオカの手法によるS26 地点単独発生の影響が最も大きいことを確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:39	また、2層流モデルの手法では、当時発生の評価結果が単独発生よりも大きく、
0:03:45	地すべり体の体積の増加によって、
0:03:48	津波水位が大きくなるという、津波、地すべり津波の一般的な傾向を示しているのに対して、マツオカの手法では、
0:03:55	何しろからSA
0:03:57	9地点、同時発生の評価
0:03:58	ナカs26地点単独
0:04:00	よりも、
0:04:01	いや、小さい
0:04:02	という、反対の傾向を示していることオカ
0:04:07	で、次のページに示します。
0:04:09	マツオカの手法による同時発生の評価
0:04:11	下の分析を実施し、S26からS29地点同時発生の評価結果が、
0:04:18	S26地点単独。
0:04:19	よりもやや小さくなっている要因を検討して、
0:04:24	13ページには、Watts他の手法による同時発生の評価結果の分析を示しております。
0:04:31	分析内容については、前回の会合から変更がございませんけども、
0:04:36	箱書きの下に、
0:04:37	送流に関する文章を追記
0:04:40	しました。
0:04:40	読み上げますと、2層流モデルの手法は、は都岡の手法と異なり、地すべり体の形状や体積を直接計算に用いる手法であり、
0:04:50	S21からS25地点及びS26からS29地点の同時発生の評価結果はともに、
0:04:57	いつクリタ
0:04:59	体積の増加がそのまま津波水位に反映されることにより、
0:05:03	単独発生よりも、敷地前面の津波高が大きい
0:05:07	と考えられると記載して
0:05:10	また本編資料の方には、
0:05:14	コメント回答については以上でして、
0:05:17	また本編資料の方には、巻末に、この同時発生に関連の資料として、パッケージとして、
0:05:25	同時発生の確認の全体をお付けしているほか、12ページ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:29	と 13 ページ。
0:05:31	の、
0:05:32	火山現象の津波評価の検討概要については、
0:05:36	前回までは、フローの中に、
0:05:40	海中噴火カルデラ陥没等の影響額、
0:05:43	ものが曇り組み込まれて
0:05:47	これを欄外に出しまして、
0:05:49	的な位置付けであることを
0:05:53	して、
0:05:53	最終的な結果
0:05:54	としては、
0:05:56	団体崩壊。
0:05:57	のものが、
0:05:59	やってると。
0:05:59	ということがわかるような形に適正化してください
0:06:03	以上で、地震以外の要因による津波についてのコメント回答の、
0:06:07	を終了いたします
0:06:18	はい。説明ありがとうございます。
0:06:21	規制庁鈴木ですけども。
0:06:23	すいません、ちょっとこのなんか資料がコメント回答、20、20 枚 10 数 9 枚ぐらいですかね全部のコメントも含めてなんで、
0:06:33	実質的には 16 ページまでのものと、
0:06:36	ある程度、200 ページぐらいある本編とあるんですけど、
0:06:42	今回、コメント回答ですよ。これ一応この
0:06:49	打ちますアノ火山のところの、まとめ資料をある程度意識して、表現の適正化というか位置付けの適正化はあるんですけど、
0:06:59	これって何かこの 200 ページのものを含めて再度その会合で説明して議論して考えているのか、もう純粹にこのコメントの回答。
0:07:09	もちろんコメントの回答をして、結果が変わらないんで地震以外の上の図、評価結果最後これですこれ確定ですっていうところだけをシンプルに説明したいのか。
0:07:19	ちょっとまずそこどっちですかね。
0:07:23	榎浜野でございます今鈴木さんおっしゃられたな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:26	後者に当たりまして、衛藤ご指摘いただいたのが、二相流の解析というところですねあと適正化は、必要に応じて、本編には反映しておりますが、
0:07:37	特にそこを詳しく議論したいというのではなくて、コメントを。
0:07:43	淡々と回答したいなという意図でございます。
0:07:48	はい。
0:07:49	そうすると今回コメント回答は会合、審査会合で審議するにあたっては基本はこのコメント回答資料で、
0:07:58	基本ここの中で説明なりその説明の補足なり、
0:08:03	結論が完結してないところもあるということに、
0:08:06	なるのですが、
0:08:09	先にどうしようかな、け。
0:08:12	一応結果はね、見せていただいて、
0:08:16	最初の六、七とかこの辺までは流れ、全体の流れなんで、その中でどの部分に李層流の結果結果とか計算解析をした。
0:08:27	オカという話で、
0:08:29	今回はあれですね、コメント会と、
0:08:33	WattsS26 の単独の発生を足したWatts他の手法の評価結果が代表で代表できますというのが 10 ページで、
0:08:41	一応この結論にたどり着いた上で、
0:08:45	地震以外の要因による津波の評価結果は、何でS26 で代表できるって結論は変わってないので、最終結果はこれですとその結果は、
0:08:55	一応今、現状はもう本編の方に載っていると。
0:08:59	いうことで、
0:09:00	ちょっとまずその理想流の方なんですけどね。
0:09:04	一応、評価結果としてはS22。
0:09:10	単独とS21 から 20、11 ページにありますけど、
0:09:17	こちらはつも二相流も単独のものが同時発生よりも短、同時発生のもので大きくなって、
0:09:26	S26 の方は、26 から 20 件同時発生については、
0:09:31	Wattsの方はほぼほぼ同じか若干小さくなって、李総理の方は、まず、より大きいものが
0:09:39	結果としても大きくなりましたと。
0:09:41	いうことで、
0:09:43	数値結果わかっ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:46	たんですけれども、
0:09:51	これがなぜこういう結果になるのかとか、
0:09:58	李沿いの評価っていうのは詳細にはどういうやり方でやったかというの は、
0:10:04	これなんか計算結果をね、出てるんですけど、
0:10:07	どういう評価の仕方を滑らせ方をしたとか評価の仕方をしたとか、
0:10:11	Wattsと二相流のそもそもの差は何だというのは、これはコメント回答 の中ではないわけですねこれじゃどこにあるんですかね、これ。
0:10:20	まとめ資料のほうのまとめ資料というか、この分厚い資料の補足のほう に入ってますかね。
0:10:26	その辺聞かれると多分補足説明資料を使って説明しますってことになる のかな。
0:10:35	はい。中部電力の盛です。二相流のやり方自体は他の単体のモデルと 同じやり方をしております、
0:10:43	手法の説明は本編の
0:10:46	中、
0:10:47	51 ページ、下に載せております。
0:10:58	本編の 51 ページ。はい。こちらに 51 ページが二相流 52 ページが、W attsの手法ということでそれぞれどういうものを使っているのか。
0:11:09	ということと、それについてはどういう計算条件をやってるの。
0:11:13	いうことの記載をしております。こちらと、これまでの単体でお示したも のと同じ手法を使っているというものです。はい。
0:11:21	それは多分その前の波源モデルの設定が、
0:11:26	あって例えば 30、
0:11:29	8 ページかな。
0:11:31	これはちょっとすみませんこれかなりミイ時、その時なかったんで申し訳 ないんですけど、これは、
0:11:37	ちょっと教えてもらいたいの、これ波源モデルの設定だって、現地地形 から復元地形を作って、
0:11:45	その復元地形のうち、
0:11:49	これは、
0:11:50	一応なんか上のポツと見るとDすべり体の体積は、地すべり体の概略体 積と異なりずメセの継続ニシダ 100 メートルDM。
0:11:59	から精密に算出したとって、
0:12:02	二相流の方に持ってくるのは、これは何上、上の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:07	38 ページの右側で言うと参考ってのがついてない上、
0:12:11	これを、
0:12:12	使って、
0:12:14	51 ページのように、密度を、
0:12:19	なりなんなりを当てはめて、
0:12:22	解析をしますだこれダイレクトに解析しますと、二相流の方は、
0:12:27	そこから必要なパラメータを、
0:12:30	算出して、53 ページみたいなやつですよ。
0:12:34	このときに、地すべり長さの厚さのハバノって多分、確か三つか四つぐらい多分因子があって、他はそれが決まると勝手に決まりますっていうことなんだけど、
0:12:45	そこで枝分かれしていきますっていう。
0:12:48	そういう話でよかったんでしたっけ。
0:12:52	はい。ご理解の通りです。38 ページはちょっとS17 の事例で載せてますので今回議論になっている。
0:13:01	S26 からS29 のとは、波源の設定ということになると 100、
0:13:07	48 ページ 149 ページにせ、これまでお見せ、
0:13:12	ご議論いただいていた資料になります。
0:13:15	で、149 ページが、
0:13:22	今
0:13:23	前回も議論になった 2S26 からS26 地点の海底生が同時発生した場合ということで、今し方の設定方法、
0:13:31	で見えていただいたように、真ん中にある地すべり後の、
0:13:35	海底地形から、地すべり前の海底事業復元アノⅢDEM場で復元しています。
0:13:41	で、ここからWattsの予測手法では、右下にあるような、
0:13:48	先ほどおっしゃっていただいたのは済ん長さ厚さ幅とか、初期の水深なんかの水報、
0:13:54	寸法なんかを読み取って初期は形を、初期は兄弟を推定していくと
0:13:59	2 層流については、特段そういう初期波源の設定のためのパラメータをここから読み取るってことをする。
0:14:07	ような必要ではないので、
0:14:10	上の絵とⅢ事務上で、復元した
0:14:15	地すべり会そのものを、シミュレーションの中に、
0:14:18	書記として入れ込みまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:20	用意したとするとそこが、す。
0:14:22	下方下方というか、
0:14:24	重力に従って下方の方に自動的に流れていくというような手法になってますので、波源モデルとして、上、この平面図なり断面図なりを設定すると、あとは計算条件をスタートさせると、シミュレーションが実施できるというような手法になる。
0:14:41	規制庁名倉でちょっと教えて欲しいのは、
0:14:44	149 ページの左側の図の最終形こうなってるってことです。
0:14:50	移送量やると地形なりに流すから、必ずしも
0:14:54	149 ページの左のような形には最終形にはなっていないんじゃないですかね。
0:15:03	はい。中部電力の盛です。地すべり後の土塊がどこまで流れ終わったかということですね。はい。だから崩壊土砂の層厚変化、
0:15:15	層厚の最終形っていうのはどうなってるのか。
0:15:18	ていうことを示してもらおうと。
0:15:22	必ずしもそのWattsと同じようになってなくて、
0:15:27	そういうことがあるので、結局、
0:15:30	若干何ていうかな、アノマツノ方法ではパラメータ出した時には、そのパラメーターからは、水位変動量は逆に小さくなる傾向。
0:15:43	っていうものがパラメーター上は推定されるんだけど実際はバツではなくて二相流をやると。
0:15:50	そこのところは必ずしもこのWattsのパラメーターの、
0:15:55	いうようにはならなくて、
0:15:57	若干変動、ばらつきがあるので、それで増えてるっていう説明になるんじゃないのかなと思うんですけど。
0:16:05	だから、表現している現象がWattsと。
0:16:09	二相流では若干コガ、組み合わせ評価やると、別物になるのでその分若干増える。
0:16:18	にそれが増える結果になってるんじゃないかなと思うんですけど、そういった考察が実はないんですね。
0:16:24	コメント回答資料は、Wattsが小さくなったことの考察だけはしてるんだけど、二相流が何で大きくなったのっていうことに対しては、何も考察してない。
0:16:35	だからそれを考察して欲しいと思ってるんですけどそのためには、
0:16:42	実際 100 アノ本対象の 150151 ページの方で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:47	同時発生を仮定した場合の地すべり地形の傾斜方向の分布等を示して、
0:16:54	要は、地すべり方向の妥当性の確認をしてるんだけど、
0:16:59	実際は二相流の解析でやった時にどういうふうな滑りを起こしているの かっていうことと比較すると、
0:17:07	多分現象的に違うところが差分がわかるので、それを考察すれば、何 で増えてるのかって、
0:17:15	ていうところが少し、
0:17:18	ひもとかれるんじゃないかなと思うんですが、そこら辺の考察が全くない ので、
0:17:23	あれこれって二相流が、
0:17:25	増えてるんだけど、増えてますと言ってるだけで、なんでそれでいいん ですかっていうことに対する説明考察。
0:17:32	妥当性がどこまで説明できるかっていうのは、見てみないとわかんない けれども少なくともその考察する努力はしてないので、
0:17:40	そこら辺を考察した方がいいんじゃないかなっていうふうにちょっと思い ましたけどいかがでしょ
0:17:47	はい。中部電力の堀です。ありがとうございます。
0:17:51	二相流の土砂がどこまで流れるかということについてお示しすることが できます。で、ちょっと止まらないかもしれないので、ある程度時間がた ったときにどこまでいってるのかということをお示しできると思います
0:18:03	で、実際に 149 ページのS26S29、地すべり後の土砂界自体は残ってな いので、ちょっとそこの比較みたいなのできないんですか
0:18:13	もうどういう状況なってるかということはお示しできると思います。
0:18:17	で、
0:18:19	その後半で言われたその二相流とWattsとの違いというところについて なんですけどちょっと私の現時点の、
0:18:27	理解にはなるんですけども、
0:18:33	10、
0:18:36	コメント回答の今回 12 ページで結果はお示しているところではあるん ですけど、
0:18:44	基本的にはこれまで地すべりの選定でも選んできたように、地すべりの 堆積が大きくなるほど津波高が大きくなるっていうのは基本的な
0:18:56	理解で良いのかなというふうに思ってますんで、
0:18:59	今回そのWattsが大きくならなかった原因が何かというところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:04	紐解いていったのが 13 ページになるんですけども、
0:19:08	こちらのこれまでの、
0:19:10	ヒアリングm佐口さんからご確認あった事項でもあるんですけど、もともと、
0:19:14	13 ページでいうと右下の方で、左下ですね、左下の方でAとS26S29 地点の同時発生、単独から同時になると。
0:19:24	体積自体は、1.4 倍ぐらいに増えていると。で、これを
0:19:31	Wattsの予測式で寸法に落とす時に、
0:19:35	寸法を、
0:19:36	体積をそのまま使うのではなくて、長さとか厚さ幅っていうところに、
0:19:42	三つの寸法に落とし込まないといけないという手法になっているところ、そもそもWattsが、
0:19:48	大きくならなかったというような要因というふうに考えております。で、その旨ちょっとなお書きで二相流は普通に大きくなってますってことちょっと上の方では、
0:19:59	書かさしていただいたので、この辺りを少し丁寧に記載する必要があるかなと思っています。
0:20:07	で、Wattsの所をもともとこの三種サノ寸法に落としてるのは、一般的な地すべりの形状ってことで、
0:20:15	単体の地すべりですね、塩水系みたいな形状を仮定した上で、このサンスポ落としこめるっていう手法なので、
0:20:24	ポコポコしてるような今回の複数の地すべりの同時発生の際に、そこがサンスポに落とす時にうまくいってないということが、Wattsの方で小さくなっていると。逆に層理の方は、そこ自然に、
0:20:36	復元地形で再現できるので、他のものと同じように沖
0:20:40	アノ地すべり体の、
0:20:42	体積に従って大きくなっているというふうに考えています。
0:20:47	規制庁の名倉です。私別に、Wattsの方法の、
0:20:52	パラメータの設定がおかしいとかそんなこと言うつもりは全くなくて、
0:20:55	149、こっちの本体資料の 150151 ページとかで、
0:21:00	滑り方向の妥当性とかも一応示してるのでこの重み付け平均をした。
0:21:07	層厚を加味した傾斜方向っていうことも合わせてみると、別におかしな設定をしてるわけではないということは、これはわかっています。
0:21:17	わかっているというかそういうふうに理解をした、していて、
0:21:21	それで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:22	マツノ方法でこういったパラメータを設定したときに、
0:21:26	値が若干小さくなる方向に動くというところの傾向も、本体資料の 13 ページのところの説明されている通りだと思いますので、
0:21:37	別にそれに対して疑ってるわけではなくてそこはちゃんと説明されているんだけど今回増えたことに対して、
0:21:44	何でそうなってるのかってのはわかるかわかんないか、それは見てみないとわかんないけど、
0:21:50	ただ、パラメータの設定をしたものに対してはつの方法ですね。
0:21:56	それに対して実際どうなってるかっていう違いが、多分説明する鍵になるんじゃないかなというふうに思っただけで、説明できるかどうかわかんないですよ。
0:22:05	ただそこんところはちゃんと説明した方がいいんじゃないか。今までの事例でいくと島根とかでも、
0:22:11	地盤地すべりの法律海底地すべりについては、
0:22:15	実は 2 層流モデルでやったときの、
0:22:19	これは形、初期水位の分布と時系列変化だけじゃなくて、地形変化のところも、小さい図ですけど、示してるんですよ
0:22:30	層厚が減ってる方向増えてる方向でどう、どういう層厚になってるのかって最終形のところを、
0:22:37	ちょっと引いたショットなんで、本当にそれどうなってるかってよく目出るかどうかってあるんだけど、そういうふうに示してる事例もあるから、最終形っていう形では層厚分布は、
0:22:49	示すことも可能だと思うのでそういったところも見せていただいた上でどういう差分があるかっていうのは、
0:22:56	ちょっと見といた方がいいのかなというふうにちょっと今回思い、
0:23:00	特に数 2629 のところの、
0:23:03	S29 のところのフツと横に折れてるところ、
0:23:07	これが実際、地すべりで上から合わせて滑ったときに、
0:23:12	多分下の方にだらだらとこう、
0:23:15	少し速度を落としながら、傾斜いう変換点で緩くなってるところに対して、
0:23:20	多分下の方に来ますぐ流れてるところが少し表れているんじゃないかな。
0:23:25	それが深いところなんですけれども、その距離が少し長いから、その影響が今回出ていて、若干津波のところ为上昇傾向。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:36	に現れたのかなというふうになんかちょっと思ってるんですが、
0:23:39	そこら辺はちょっとよく結果を見ていただけたらなと思いました。以上です。
0:23:45	はい。
0:23:46	中部電力天野でございますありがとうございます。衛藤。
0:23:49	盛がご説明させていただいた通りで、
0:23:53	ちょっと明らかに、
0:23:55	ボリュームが増えてるんで、普通だなという簡単な考察しかしておりませんので今名倉調整官からお話だと、ちょっと現象として、
0:24:06	どんなふうに出てるかっていうところをしっかりと添付してですね、違いがこうだということをご確認いただけるようにしたいと
0:24:16	思います。もともとやはり地すべりの津波って、その再現性がまだ不確かな部分もあって複数手法でやるということもあっていて、
0:24:26	す。
0:24:27	復元地形を作ってそれ滑らすんだけど結果的にもとの地形にはなっていないんだろうなとは思ってるんですけどそのあたりも含めて、それぞれ特性が違いますので、
0:24:39	見える化して対応したいと思います。
0:24:45	施設の名倉です。
0:24:46	おそらく今回検証してみて、
0:24:49	よかったんだろうな。
0:24:51	確認ができてよかった。
0:24:53	というふうな結論になるんじゃないかなっていう気はちょっと私自身は、楽観的にそう考えていて、
0:24:59	そこら辺をちょっと説明していただければと思います以上です。
0:25:04	はい。事務連絡もです承知いたしました。
0:25:10	はい。ちょっと全体的な流れというかそこら辺はわかったんでちょっともう1回だけちょっと念のため、
0:25:17	ちょっとさ、本編の38ページからここに戻りながら、ちょっと流れをってもう1回頭の中を整理したいんですけど。
0:25:27	もともと、
0:25:28	現地地形を本当に復元地形を作ります、ここまで共通ですね、で抽出した滑り地形があって、これをきちんと100メートルDEMで精密にモデリングしました。李総理はこれを使いますと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:45	Wattsの方は、下にあるように、長さ幅厚さとかこういうような、必要なパラメータに置き換えるような形で、
0:25:53	使いますと、これだから入口論ですね。
0:25:57	そのあとにもととの説明だと、その元地形復元地形の話が、1個1個の釣りたいごとに、
0:26:07	よう40何ページ50ページまで説明があったのかな。
0:26:11	これ多分今回の補足説明資料もついたように、
0:26:15	実層理はこういうやり方ですってWattsは52ページのやり方で、
0:26:22	53ページにあるようなパラメータを使います。
0:26:25	シミュレーションしましたってのが続くのですが、
0:26:29	57ページとかからはもう完全にその先の話ですね。
0:26:32	そうすると、
0:26:35	今回のところでいくとですね。
0:26:39	ちょっと同時発生の、
0:26:43	検討方針これは過去に説明したような話なんで、
0:26:48	さっきの説明があった148かな。
0:26:51	先ほどの38ページの話から、持ってくると。
0:26:57	148ページの一番左上の図ですね。
0:27:02	ここで復元地形がこの図で、二相流は、この図から直接、
0:27:10	できますと。
0:27:11	Wattsは、とかくかくしかじかこうやりますと、そこで枝分かれをしてるわけですね。
0:27:19	で、
0:27:20	ちょっと多分これはなかなか難しいのかもしれないですけどこれ、
0:27:23	滑らせたとて、Wattsと二相でどっちが最終的に現地形、現地、現地形には最終的やっぱならないんですよ。
0:27:31	けどどちらの方がなんかより現実的現地形に近くなるかちゅうかそういう話もやっぱ難しいんですか。
0:27:41	はい。中部電力の盛です。二相流はおそらく
0:27:46	二相なので、土砂を主津波と同じようにシミュレーションするんですけども、重力に従ってもずっと流れていってしまうので、
0:27:54	ちょっと特にここ変えて国のどこまでの流れって言ってしまって最終的にずっと計算すると、土塊がどこまでも行ってしまいうってような計算になります。で、Wattsの方は
0:28:06	地すべり後がどうなっているかというよりは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:11	地すべり前、復元地形と現地形から、初期はK津波の初期は形を、
0:28:18	推定するというような手法になるので、地すべり後がどうなってるかというのが計算で出てくるわけではないというもの。
0:28:26	以上です。
0:28:29	電力は同じアノをWattsがもともとその今の現地形から復元させているので、そういう意味では、Wattsは今の地形、
0:28:39	なるよっていう前提で、
0:28:43	もともと地すべり今を
0:28:46	見つけ出してそれを、もともとの滑る前の山尾、復元させて、すりつけた結果として、
0:28:56	今のその地すべり金まで滑ったとするとその落差がどれくらいあつてっていうのを、
0:29:01	計算上作って、計算するっていうのがWattsなんで、鈴木さんは、この絵の通りになっていて、磯岩森が申し上げた通り、
0:29:12	ずっと流れていっちゃうので、ここの通り、現地形にはなっていないだろうとは思
0:29:17	るのでその辺り先ほど名倉さんのお話もあつて、ちょっとこんなふう、違いが出ている。
0:29:23	っていうところはお示しできるかなと思う。
0:29:26	なるほど。あんまり李総理のなんかより現実的な最後のすべりの結果に、
0:29:33	なるんだけどもそれよりも、何とかハダ体の厚さだと言って嫌で出したWattsの方が大きいんでこっちのご指摘ですとそういう話でもないわけですねそうですねその辺がまだ研究過程で明確にこの方法ならっていうのが、
0:29:48	3次元ぐらいで完全にやるともう少し良くなってくるっていうのは、研究途上ではあるんですけど、今
0:29:55	実際使われてるところだと、この程度っていうのが、
0:29:58	地すべりの現状です。
0:30:01	うん。
0:30:03	わかりました。じゃ、やっぱりここは結局複数手法をやってみて、野瀬ら幸せながら一応最終的に一番安全側な判断をしましょうという、
0:30:14	そういうところで、ただですよ。そういう意味で言うともともと能復元地形をつくったならば、地形をきちんと解析で、
0:30:25	作ったならば、その先っていうのはあんまり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:29	採用はもはやないのかな、どう滑らせるか滑らせる方向が何だとかって いうのは、あまり二相流の方は裁量がなくて、あとはもう計算まわして結 果が出るだけ。
0:30:40	Wattsの方はそこが幅で厚さだといって、多少チューニングするので、
0:30:46	言ってみれば 150151 のところで滑らせる。
0:30:50	方向ですよ。
0:30:51	ここをどうするかっていうところにはあるんだけど、一応この滑らせる 方向の妥当性っていうのは一応ディ滑り地形内の傾斜方向を見なが ら、この矢印の小西倉持は最も合理的だと。
0:31:03	いう説明はしているので、
0:31:05	ここもこの辺りさえ押さえてしまえば、あとあんまり裁量もない。
0:31:09	ね。
0:31:11	うん。
0:31:12	ちょっとその辺り結局、最後本当な、先ほど名倉が申し上げたようなとこ ろに尽きるんですけど、もう少しそこら辺、分析をしてというか、もともと
0:31:22	単独の時にWattsと二相流でどういう考え方やり方、適用野瀬方をして たか。
0:31:28	多分、
0:31:29	私なら 38 ページの基本的な波源モデルの設定、こっからはつとに層理 に分岐してっていう話をした上で、基本は今ある補足説明資料の方です ね。
0:31:41	この辺なんかを使って、さらになぜそうなるのかっていう分析考察をもう 少し加えた上で、
0:31:49	結論としては、
0:31:52	複数の手法で検討してみてどうですエリア。
0:31:57	三田。
0:31:58	蒲生最終結果としては一応S26 単独のWattsのもの、これで代表でき るとい結論になると。
0:32:05	ことかと思いますが、ちょっとそこら辺も少しわかるようにしていただけ ればと。
0:32:11	もう五つですね。
0:32:13	あとこれ、最後の、今後、これだから組み合わせの対象候補になるわけ なんですけど、
0:32:20	当然ながら最大敷地における、どの時間だかわかんないですけど、最 大の上昇水位と、最低のオカ、最大の下降水位ですね、これは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:30	S26 の単独発生のWattsの手法で評価したもの、これで代表できると。
0:32:36	ということなんですけど、この組み合わせなんかを考えたときに、
0:32:40	いわゆる時間なりは形とかですよね、はっきりの傾向とか、
0:32:46	その辺りというのは、一応これは、
0:32:50	補足説明資料のあるような 156 ページ以降とかですかね。
0:32:54	こういうハケ時刻歴は形だったりあとはスナップショットみたいなもので、
0:32:59	傾向としてはあんまり変わらないんですよとそ、
0:33:02	だから 30 センチぐらい高い、このS26 単独Wattsの手法の、これを組み合わせに持ってけばいいんですよという、そういうお話になるんですかここは。
0:33:17	はい。中部電力の盛です。組み合わせで何を選ぶかはちょっと今後の説明にはなりますけれども、以前、基準値の策定方針のところで示させていただいたように、まずは一番影響の大きいは、
0:33:29	Ⅱの枚数 26 単体等プレート間がきちんと重なるかというところを分析して参ります。で、他のものについては、その影響を超えないかという点で確認を
0:33:41	以前いただいたコメントの通りで線形での確認が必要であれば非線形でそれを超えないかという確認をしていくということを考えております。
0:33:51	はい。
0:33:52	そのあたりは、
0:33:53	だからこの組み合わせのときに、上から順に組み合わせていって、一番大きいもの同士で組み合わせられなかったら、次にと、
0:34:02	いうところで説明になるわけですか。この時点では何で結局この二相流の 6メートルみたいなものも含めて、
0:34:11	これを組み合わせには絶対はしなくていいんですよという宣言までは、ここではしてないわけですかねこの段階では。
0:34:21	なんでまだ 6.3 メートルがもし重ならなかったら、
0:34:25	この二相流の 6 メートルとかWattsのを、
0:34:29	いうのも、
0:34:31	もしかしたらWattsの 6 メートルもそうかもしれないですけどね。
0:34:34	これも組み合わせの、
0:34:36	俎上には、
0:34:38	時点、
0:34:39	としての子残るっちゃうことですかそれともいやこれはいらんのですよっていうここでもう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:44	宣言をして、
0:34:48	消えるんですかねこれは、
0:34:50	はい。中部電力浜野でございます。我々としてはS26で同時発生は代表できるという、コメント回答資料の影響確認とさせていただいている。
0:35:02	点においてこのS26、
0:35:05	についてはこれを候補として選びますので、先ほど盛が申し上げたような、
0:35:11	次に、次点としてどういうのを選んでいくかっていう観点に置くと、例えば、その本体の64ページ等で、
0:35:19	もともとそのエリアごとで、
0:35:23	どういう、
0:35:24	地すべりの影響があるかと。
0:35:26	いうのを抽出してございますので、64じゃないか。
0:35:30	60オカコガなんで、すいません。
0:35:34	61か61ですね、ちょっとわかりやすい上昇が行くと、
0:35:40	そう。
0:35:41	場所によってそれぞれ影響の大きいものっていうのがあるので、今鈴木さんおっしゃられたようなその時間差
0:35:49	を考えたときにどっちから。
0:35:51	来るやつの方が影響するかという意味では、
0:35:55	この四角で囲っている、S2だとケース17或いはS3といったようなものが、次点候補としては上がってくるかなと思って同じ領域の中で一番大きいっていうのは、
0:36:07	もうこの時点で、S26であれば単独が大きいですという確認をしたという。
0:36:13	位置付けで考えてございます
0:36:18	はい。なので、今回のコメント回答のこの会の段階で、
0:36:23	いわゆるこの、
0:36:25	6メートルWattsのS2620クドウ時発のWattsの6メートルだの、イセホリノ6メートルっていうのは、
0:36:32	これ多分、おそらくですよ。わかりませんが、180ページとかこういうようなところ、例えばですけどね。
0:36:40	これ多分Wattsの、これWattsかな。
0:36:42	で、S22地点とかこれS22が次の方かな、S26地点単独と、S26、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:50	から 29 の同時発生でここは多分アノ。
0:36:52	津波の伝播の傾向に大きな違いはないとか、多分こういうふうに書いていて、
0:36:58	そのフォローとしては、こういう単なる水位だけじゃなくてこういう傾向の違いは確認ができてるんで、そういうところも含めて、もうこのS26 単独 Wattsの手法で、
0:37:10	代表できるんです。
0:37:14	なんで組み合わせの候補として絶対残らないっていうのを多分ここで決めてるんですよね。
0:37:19	はい。すいませんそういう意味で、
0:37:23	今日の
0:37:24	ヒアリングの中でご確認先ほど名倉調整官からお話もあった通りちょっと移送流の傾向とか、Wattsの傾向っていうのを分析しながら、
0:37:35	結果、この葉系であったり、スナップショットで見てもそんなに影響ないんで、単独で組み合わせの方に持ってきますというところ、コメント回答の資料で完結させた方がいいなということは、
0:37:48	理解できましたのでこの辺りはコメント回答の方に織り込んで、ちゃんとそういう 8Kなんか、スナップショットも確認した上で、代表性があるっていう
0:37:58	ところが読み取れるように、修正したいと思います。
0:38:03	はい、よろしくお願ひします。ちょっとそれで今何で教えて欲しくて、二相流の方のスナップショットみたいなものは 100、
0:38:11	70 ページ例えばS26 と。
0:38:15	ものだと 170 と 171 でスナップショットになっていて、
0:38:23	ここには何とかスナップショットを示すしか書いてないんですけど、
0:38:27	なので、こういうようなところに、イデでこのスナップショットDなんか、いや、
0:38:33	何が言いたいのか、いや何か違うんですよと言いたいのか。いや傾向と一緒に言いたいのか。サイトウ付近の傾向一緒だと言いたいのはちょっとそういうようなところもよくわからなくてですね。
0:38:45	何かすでに何かお考えがあるということなんであればちょっと早めに、このあたりですね、スナップショットでいくとS22 からも含めてだともうちょっと前のページですかね。
0:38:57	葉系とか、このスナップショットみたいなもので、
0:39:00	どうい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:02	どう考えているのか何かこっちは、
0:39:05	スナップショットを示すしかなくてへ出でこれを示して、何を言いたいのかがわからないっていうところもあってですね。
0:39:15	ここも教えてもらっていいですか。
0:39:19	はい。中部電力の森さん。
0:39:22	ちょっと今天野が申したことでちょっとややずれてしまうんですけども今回我々のこの評価自体は単体の評価としてお示しするつもりで作っております、
0:39:33	江藤、今見ていただいているような二相流のところの結果も先ほど、
0:39:38	名倉調整官からあったような地すべり土塊がどう滑ってるかというのと同じようなところで、津波の伝播がどうなってるかというところを津波評価結果としてこれまでは杖お示ししていたものを、2層流でも、
0:39:52	あわせてお示したものになります。で、
0:39:56	当然今回、二相流の今、見ていただいているような、
0:40:02	100、
0:40:04	70、
0:40:05	170
0:40:07	ページの 26 から 29 と比べますと、二相流では、
0:40:13	地すべりの規模が体積大きくなっているので、津波の初期水位も単独と比べればややちょっと大きいような、コンターにはなっていると。
0:40:21	ただ、上と下 0、それ以外のところの電波の状況なんかが違うかというところでもないというようなところは 4 見えはするかなというふうには思っています。で、
0:40:33	こちらのちょっと分析というよりは、結果どうなっているかという意味でお示したものになります。
0:40:40	で、
0:40:42	は形自体を載せて、
0:40:45	るのが 150。
0:40:48	6 ページ。
0:40:50	なんかになります。で、
0:40:52	156157 ページですね。大きく見れば当然同じ試験なので、同じぐらいの到達時刻で、
0:41:00	きているというところを見ていただけるかなというふうには思っていますけれども、ちょっとここは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:07	実際に組み合わせのときどうなるのかというところはまた別途の話かなというふうには個人的には思っています。で、今回我々同時発生の検討している、この影響確認というふうにしている。
0:41:20	ことの位置付け自体は、100、
0:41:24	44 ページの検討概要のところにも記載させていただいておりますけれども、
0:41:36	もっともとその地形判読の調査、
0:41:39	から単体で滑ってるということが、侵食の過程を経ないという段階的な地すべりっていう起きませんので、そもそも同時に起こっていないものだということが地形判読の結果からは、
0:41:52	確認しております。で、その上で、当然影響確認としてはやるべきだというふうに、
0:41:59	当時ご指摘を受けて我々としてもそのように判断をしましたので、影響確認としてそんなに大きくならないと、どっちかってのはちょっと小さくなってしまおうと。
0:42:07	というようなことを今後これまでお示してきたものになります。
0:42:11	なので基本線として、地すべりの最後の評価結果のところ、
0:42:17	同時発生のケース自体がまだ残るものではないというふうに考えておりますので、組み合わせ自体も、メインのところの検討からは、同時発生と組み合わせると。
0:42:27	組み合わせたものをさらに組み合わせるといようなことはしないということ、を現時点では考えて今
0:42:33	以上です
0:42:54	T
0:42:59	すいません。で、そのあと最後は、結局その上昇水位の最大と下降水の最大で、
0:43:05	代表できる。
0:43:07	というのが結論で、あんまり敷地にどのぐらいの時間体でくるとか、いわゆるスナップショットの関係が、Wattsのそのものと二相流のもので、
0:43:19	同じだとかっていう
0:43:22	それによって何か代表性を決めるっていう考えではないっっちゃうことですかね。
0:43:32	はい。中部電力の盛です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:35	先ほど名倉調整官からいただいたようなちょっと分析自体はちょっと足りないというふうに思っていますので、は形ももう少し並べてみてどういことがいえるのか、現象としてどう違うのか同じなのかと。
0:43:46	いうところは、分析した上で、コメント回答とさせていただきたい。
0:43:52	はい。よろしくお願いします。
0:43:54	あとね当然手法が全然違うので、ある意味、仕方ないことなのかもしれないですけど、
0:44:01	例えばは
0:44:02	Ⅱーをノダと。
0:44:06	S26 と 156 なのかな。
0:44:10	これで、
0:44:11	水位の上昇が大南 40 分強ぐらいのところ、
0:44:17	水の最大要素で 6.3 メートルの 6 メートルみたいなのが出て、
0:44:21	何となくこう次の二相流の方行くと、
0:44:24	これ、この差が、何ていうか組み合わせるか組み合わせないかのクリティカルなところかっていうのももちろんあるんですけど、
0:44:30	こちらだと、
0:44:33	もう少し何か足が早いんですかね二相流の方は、敷地との関係とこれは手法自体が違うんで、
0:44:39	こういうのあるのかもしれないですけど、
0:44:42	今なんか見ると単純に時間いくと 20s26 の単独とか再掲とか見ると 30 分には早いですよね。
0:44:50	20、
0:44:51	分、
0:44:53	若干 30 分よりも早い帰り敷地に来るみたいな。
0:44:58	時間単位になって手前の 156 だと 45 分とかで、多分 20 分ぐらい何か時間差が、
0:45:04	あるようではあるんですけど、これが実際重なるか貸さないかのところに、9 時間に効いてくるものなのかどうかというのはもちろん、
0:45:13	いやどのみちこの 6.3 メートル重なるじゃないですかってのが、
0:45:17	最終的な組み合わせまで行った後の結論なのかもしれないんですけど、
0:45:21	この段階で何か足切りするかどうかっていうところを考えると、
0:45:27	ちょっともう少しこの辺りのところも、そのプロットとかも含めて、ちょっとまず分析考察をしていただければと思いますんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:36	はい、お願いします。
0:45:38	一応これ補足についてるようなこのスナップショット時刻歴は形みたいなものと、これまでその単独、
0:45:45	御説明で一通り説明があった例えばコ 39 ページ以降ですよね。お子さん波源モデルの話は確かに今回の補足にも、
0:45:56	同地すべりのいわゆる地形の復元地形、或いはそのWattsに使うようなこのパラメーターだっていうのは、
0:46:04	入っていて、53 ページみたいなものですね、
0:46:08	初期水位分布みたいなものも説明があるのかな。
0:46:13	それ以降の 56 ページ以降になると今度は、これはその先の話なんであんまり、
0:46:20	Wattsにすごい、あんまり関係ない話ですよ。
0:46:24	最終的な水位上昇法の結果加工の結果、
0:46:30	みたいな 150 何ページ 60 何ページみたいなところにあったものですね こういったものも多分ついていて、
0:46:37	およそ河合後は、69 ページにこれスナップショットありますけど、これ S、最終的にS26一だけですけどね。
0:46:46	こういうようなものもついてるんで、一通り海底地すべりの評価結果単独の方で今入ってるような説明は、
0:46:55	と通り漏れなく、この
0:46:58	補足。
0:46:59	100 数十ページからのこの補足ですね、このところには、今日抜けなく説明は入れていただいているんだらうなと思いますけど、
0:47:07	ちょっと今みたいなのところも含めて考察をいただければと思い
0:47:17	その上で、
0:47:19	ちょっといいかな、地震以外の最後のところはちょっと止めといて、
0:47:24	ほか何かある方いらっしゃいますかおられ、
0:47:47	規制庁削除
0:47:48	ちょっとやっぱり教えていただきたいのは、
0:47:52	ちょっと今更感はあるかもしれないんですけども、コメント回答で、
0:47:59	12 ページとか 13 ページされてるんですけど、
0:48:03	ごめんなさい、ちょっと今佐田さん。
0:48:05	けど、
0:48:06	これ 20S、S26 からS29 の同時発生ってやっていると、
0:48:13	S26 の単独。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:16	書かれてますけど、これ本当の意味での単独なんです
0:48:20	いや、
0:48:20	実はこれS20、
0:48:22	6 単独って言われてますけど、実はS26 から 28。
0:48:27	相当のものを、結局、
0:48:30	やってるんじゃないかなと思っていて、
0:48:33	だからその、
0:48:34	これ表現だけかもしれないですけどねS26 単独っていうのが、本当にS 26、つまりS27 とかS28 は、
0:48:44	ごっそり抜いた形で、
0:48:46	やって、それをS26 とされているのか。
0:48:49	ほぼだからS27 とか 28 も、
0:48:53	結局含めた形でS26 単独って言ってるのか、ちょっとどちらか教えても らっていい。
0:49:02	はい。中部電力の森です。S26、単体で検討しているっていうのが、事 実
0:49:08	になります。で、平面的には 20、
0:49:13	728 が重なり合ってますので、検討のやり方としては、
0:49:20	本編資料の 47 ページ
0:49:23	でお示しをして、
0:49:27	います。
0:49:28	衛藤。
0:49:39	はい。
0:49:41	そうですね。ちょっと、
0:49:50	ちょっと、そうですね同じ平面上に重なってるS27S28 がちょっとどこに あるのかっていうことがちょっとわからなくなっているんで、
0:49:58	ちょっと不十分なところあるかもしれませんが、
0:50:02	左側の現地形に対して他の地すべり地形、後にすべてのS27S28 を、
0:50:11	取り除いたものが真ん中のS26 地点が滑る。
0:50:15	滑った後の地形になります。さらに、全部復元したのがS、Aと、右側に なりますので、S27S28 のところは取り除いた形で検討しているというも のに、
0:50:28	はい規制庁サービスわかりましたアノ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:31	いずれにしてもちょっと今の絵だとわからないんですけど、27 と 28 は確実に取り除いてS26 っていうものを単独で見たときに、こうなってるっていう
0:50:42	そういう御説明っていうのは理解しましたんで、
0:50:45	アトベウラマツ 145 ページ見ていただいて、
0:50:51	それぞれ今佐口さんご懸念のところ、要は、
0:50:55	どういう順番で、
0:50:57	動いたであろうという考察を箱、下の、
0:51:01	破線の箱書きで書いてるんですけど。
0:51:03	ここに書いてる通りで、S26 が発生した後その侵食作用で、S27 と 8 がこのげたの足みたいな感じで、
0:51:13	侵食されていって、地すべり発生して、
0:51:17	最後にS29 が、
0:51:20	発生したであろうというそれぞれ、ある、当然時間差をもって起きたというところは、考察してます同様にS21 から 20 ゴコウということで今盛が説明した通りS26、
0:51:32	単独ってのこの一番上のイケダの足がない部分での評価でやっているというところですよ。
0:51:42	はい。規制庁佐口
0:51:43	わかりましたなので、
0:51:45	多分それが 149 ページの、
0:51:50	なんていう
0:51:54	現地形というところで、若干このS26 単独とS26 ヶ月 29 で、
0:52:02	これ何かす水平の、
0:52:04	1000 から 2000 ぐらい。
0:52:06	2000 とか 3000 ぐらいの間、
0:52:08	若干この
0:52:09	でこぼこというのがこういうのが違うとか、そういう、
0:52:14	影響があるのでこうちょっと変わってるってそういう理解でいい。
0:52:22	はい。規制庁佐口ですご説明理解しましたで、あとですねやっぱり教えていただきたいのは、
0:52:29	結構ですね随所に、先ほどちょっとスズキ等の確認の中でありましたけど、
0:52:34	概略体積っていうのがあって、
0:52:37	結局ですね、この概略体積っていうのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:41	計算とか何か使ってるのか使っていないのか、単なるその最初の何か、何て言うんすかね。
0:52:48	本編の、
0:52:50	本編資料の、いわゆるその 35 ページみたいな、
0:52:54	何か全体をばっとう概略的に見せたりそのスクリーニングアウト 36 ページでするだけのために使っているのか。
0:53:02	それとも、
0:53:04	何かその後ろの今日、何か計算とかそういうところも含めて使われているのか。
0:53:09	そこを教えてもらっていいですか。
0:53:24	はい。中部電力の盛です。佐口さんが今、ご理解いただいている通りだと思いますけどもスクリーニングのところでのみ概略体積というのを使っております
0:53:34	で、
0:53:39	事、
0:53:40	30 ページのところまず、地形判読から大体の概略体積というのは
0:53:49	算出しているというのが 30 ページのところに
0:53:52	で、こちらで出したものを、
0:53:55	今見ていただいていた 35 ページ 36 ページ、まずどれを検討対象としますかというところで概略体積を使って、検討し
0:54:06	選んだ上で、次から始め 38 ページの方で波源モデルを復元地形 3M から精密に検討していきますので、この津波評価に入ったところからは、きちんと体積を算出
0:54:19	して、そちら、
0:54:21	それも解析自体に使ってるわけじゃないんですけども、そちらを使う、そこを、
0:54:26	きちんと算定した上で復元地形を作って、シミュレーションやっていくということ
0:54:32	はい規制庁サクセスわかりましたので、基本的にはいろいろ波源モデルの設定以降、きちんとそのシミュレーションとかそういうのも含めてやるときには、DEMから、
0:54:46	精密に算出したって言われてるこの 39 ページ以降とかで示されてる、この差、体積を
0:54:52	使うというふうになんか今理解しました。
0:54:56	で、その一方ですよ、これはあくまでも、例えばなんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:00	145 ページで、
0:55:02	なんて書かれているかっていうと、
0:55:04	これ、地すべり体の概略体積
0:55:07	書かれている
0:55:13	多分これって例えばS22 って概略体積って 20 はずなので、12 じゃない。
0:55:19	そこはまず総合があるっていうのと、
0:55:22	だから、結局ここでじゃあ、
0:55:24	この部分 32 って、例えば 145 されてますけど、
0:55:28	このコメント回答の 12 ページ目と、これS26 で 33 になってるんですよ。
0:55:35	多分 33 はこれが概略な体積なのかな。
0:55:38	ちょっとですね、その辺が何か整合性が、
0:55:42	取れていないのかどうか。
0:55:47	ね。
0:55:48	ごめんなさい、本編の 145 か、145 のその 32 っていう方が、これ概略なのかな、こっちは。
0:55:55	とかですね。
0:55:56	ちょっとその辺り資料、資料の中で、
0:56:00	いろいろ整合性がとれていない部分があるので、そこはきちんと確認をして、整合性取るような形にさせていただき
0:56:14	はい。中部電力の盛です。
0:56:18	そうですねちょっとどの数字を載せるのかっていうことを再度検討させていただきたいんですけども、先ほど申した通りで、選定のところでは概略で評価してるところでは、
0:56:30	地すべり体の復元地形から
0:56:33	復元した体積というのを載せております。で、
0:56:37	ここの 145 ページは、どういう、
0:56:41	検討しますかという黄色い四角のところでの、
0:56:44	検討になってまして衛藤。
0:56:47	そうですね。
0:56:48	何を書いているのかということが見にくいんですけど、地すべり体の概略体積の中で、一番大きいS22 で、29 から 2629 の方については、一番大きいS26 をまず選んだ上でシミュレーションをしていますというような松波。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:05	どう、何を選定して、間に何の評価をしているのかということの概要として書いているつもりです。衛藤、同時発生の検討はしているんですけども単独でS27の検討をしたりだとか、S20、
0:57:19	8のシミュレーションしたりだとかっていうのをしていないので、単体の復元地形っていうのは、
0:57:26	今見アノ県検討していないという状況なので、まず、どれを選びますと いうところで、概略の体積をお示しているというところの資料です。な のでちょっとどういうふうを選定したかという意味でこう書いているとい うことがわかるようにさせていただく。
0:57:40	切るのがいいのかなというふうに考えています。
0:57:43	以上です。
0:57:50	いや、規制庁の名倉です
0:57:53	私もちょっと13ページ、概要説明資料の13ページと145ページ。
0:57:59	もう見比べて、数字が合わないんでこれどうしたものかなあと感じてい て、
0:58:07	みよよく数字見てくださいね。
0:58:09	22が単独12で、
0:58:11	145ページと合ってるんだけどそれが、
0:58:16	これ、多分単純な足し算じゃないと思うんですけど、
0:58:19	S21から25同時発生36ってこここれどう出てくるのかなっていうのと あと、
0:58:28	13ページの下が堆積33ってどっから出てきたんだろうっていうのと、
0:58:33	47もどっから出てきたんだろうっていうのがちょっと、すみません145ペ ージと、
0:58:38	合わないので、
0:58:40	そういう意味で、概略体積と、体積の違い。
0:58:45	この辺が何か混在していて、
0:58:48	ちょっとトレースできなかった。
0:58:50	のこら辺ちょっと整理してもらえますか
0:58:56	電力アマンでございます。12ページとかでお示してるのは、実際これ DEMで拾った数字になっていると思います。一方で145ってのは盛が ご説明した通りで、
0:59:09	これ、結構古いときの資料なので、まだそのS27とか8単独では評価し ていないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:20	トーン合わせで概略で書いてるってことで、間違いではないんですけど、衛藤。
0:59:26	その差がどうしても出ちゃってるのでちょっと数字チェックしつつ、どういう位置付けなのかというのをしっかり、
0:59:32	書かしていただきたい特に 12 のところってのは、DEMでS27 とか 8、29 辺りも一緒に全体を拾っているものですから数字が足し算で概略と合わない。
0:59:44	いうところが出てますんでそのあたりちょっとエビデンスも含めて、
0:59:48	添付できるように、
0:59:50	したいと思います。
1:00:50	はい。規制庁鈴木ですけど、なのでちょっと少し今みたいな数字の整理とか等々あったような
1:00:57	考察を加えるような、
1:00:59	通していただいた上でですけどね。
1:01:01	そのコメント回答。
1:01:05	を一通りした上で、
1:01:08	ちょっと最後、
1:01:10	最後の、
1:01:12	そのコメント回答を踏まえると、踏まえてもなのかもしれないんですけど、地震以外の要因による津波の
1:01:19	評価としては、
1:01:22	15 ページ、コメント回答の方の 15 ページですけどね。
1:01:26	以下の通りでこれはだから前回から、
1:01:30	変わらないと一部修正って何かどこかあったんですけど。
1:01:36	15 ページのこの一部修正は、
1:01:41	どこが変わったんだ。
1:01:45	ごめん、ちょっともう 1 回どこかあったからいいですよ。
1:01:47	はい。中部電力の盛です。評価結果自体は変わっておりませんで、上の箱書きのところでどれが一番地すべりが一番大きいというのちょっと書いてあったんですけど、以前、
1:01:59	のヒアリングの中で、まじすべき火山と比べて地すべりが大きいということに意味がないよねというようなご確認をいただいたのでちょっとその部分だけ消したという、
1:02:10	はい。火山現象の方は、
1:02:26	うん。確かあれですよねこの上のところに何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:31	火山現象何と比較するかっていうところで、確か関係者方針として、プレート間でも明らかに小さいですねという、
1:02:39	欲しいんですよと。
1:02:41	いかその部分を直ただけですね。はい。なので一応きちんとこの横道地すべりによる影響の確認の結果S26 単独で代表できるとコメント回答の中で言い切った上で、
1:02:54	結果としては、
1:02:55	ここにあるもの。
1:02:58	が、地震以外の要因による、
1:03:00	次の結果です。
1:03:03	結果は、影響確認の結果、
1:03:07	よりS26 で代表できるというところに変わりがないので、結果としてはこれ前回お示したものと変わりませんと。
1:03:14	ということで、地震以外の要因泉評価結果は、この 15 ページの通りですと。
1:03:20	ということですね。はいはい。
1:03:27	なのでちょっとあんまり今回の説明でちょっと、先ほど本編の方であったようなちょっと火山の話だとかですね。
1:03:37	少し何か
1:03:39	これ、前回の、多分会合の場でも、うちの管理課のナイトウの方だと、
1:03:44	アノですね。
1:03:45	プラスされるんで多分話も、
1:03:47	本編の 12 ページとかかな。
1:03:49	多分このB7 の方の位置付けですよ。
1:03:53	こういうようなことは資料適正化しましたということだと思んですけど、改めてそういうようなところを、
1:03:58	逐一買い物まで説明して確認して議論してっていうところでは、多分そちらとしてもそれはあまり書いてなくて、せっかくこういう形でのものを出すんだったらば、今、
1:04:10	適正化しましたということで、ここは今見せていただきましたんで、
1:04:15	今日コメント回答という形で、コメント回答でコメント回答の結果、地震以外の要因による津波の評価結果は、
1:04:22	この通り変わりませんというのが、一応ご説明だと理解しましたので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:28	ではまずは、少しその考察も加える、あとは少し数字とかも含めて、整合性を図るということをしていただいて、
1:04:37	どうですかね。
1:04:39	ちょっと考察の部分はもう一度ヒアリングで聞かせて、確認させて、
1:04:44	いただきたいかなと思っていますので、
1:04:48	強化 10 日
1:04:52	ちょっとそこら辺も少しちょっとどのぐらい考察というか、すでにある程度頭の中でというか、進んでいるようなものをであればそんな時間かからない。
1:05:03	かもしれないですけど、ちょっとこの辺りも少し資料の準備状況次第で、またヒアリングを、
1:05:08	資料の提出めどとヒアリングを申し込むような形でお願いしたいと思います。
1:05:14	よろしいですかね。
1:05:17	いいですかね。
1:05:18	大丈夫ですか。
1:05:19	中部電力の方から、松波のこの関係何かありますでしょうか。
1:05:24	根井川野です。今日ご確認いただいた通りで、特に送流とWattsのところ、手法の違いから、どういう影響が
1:05:33	あるのかっていうところの考察しっかり、
1:05:36	入れ込んで、迅速に資料化したいと思います。よろしく願いいたします。
1:05:42	はい。よろしく願いします。ではヒアリングの方以上で終了したいと思いますお疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。